

【成果情報名】 コチョウラン栽培における緩効性被覆肥料による施肥

【要約】 コチョウランの3.5号鉢上げ後、180日タイプの緩効性被覆肥料3gを植え替え時に表面施用すると、慣行の液肥（窒素50ppmを週1回）を施用するより株の生育が優れる。

【キーワード】 コチョウラン、施肥

【担当】 総合農林試験場・作物園芸部・花き科

【連絡先】 電話 0957-26-3330、電子メール j-morooka@pref.nagasaki.lg.jp

【区分】 花き

【分類】 指導

【背景・ねらい】

コチョウラン等の洋ラン栽培では手灌水による液肥散布が行われているが、より低コスト、省力的な施肥方法について検討する。

【成果の内容・特徴】

1. コチョウランの栽培に置いて2.5号鉢から3.5号鉢に植え替え、植え込み資材にくん炭＋粉碎杉皮バーク、水苔＋杉皮を使用した場合、180日タイプの緩効性被覆肥料3gを植え替え時に表面施用すると慣行の液肥（窒素50ppmを週1回）施用と比較して、花蕾数は同等だが、最大葉長、植え替え後の増加葉数等株の生育が優れる（表1）。

【成果の活用面・留意点】

1. 2.5号鉢まで水苔で栽培した結果である。3.5号鉢からくん炭＋粉碎杉皮バークに植え替える場合は、鉢の中央部に水苔があるため、灌水は慣行の水苔＋杉皮と同様に週1回でよい。

[具体的データ]

表1. 植え込み資材の種類、施肥方法・施肥量とコチヨウランの生育

植え込み資材 の種類	施肥方法・量	総窒素					
		施肥量 g/鉢	最大葉長 ¹⁾ cm	葉幅 ²⁾ cm	葉数 枚	増加葉数 ³⁾ 枚	花蕾数 輪
くん炭＋ 粉碎杉皮バーク	緩効性肥料3g	0.42	25.1	6.6	8.0	4.0	10.8
	緩効性肥料6g	0.84	23.5	6.5	8.4	4.4	10.7
	液肥:N25ppm	0.15	19.1	6.8	6.5	1.6	9.2
	液肥:N50ppm	0.3	22.1	6.8	7.2	3.0	11.0
	液肥:N100ppm	0.6	24.4	6.6	8.4	4.3	11.2
	慣行液肥:N50ppm	0.3	20.8	6.4	7.2	2.9	10.8
水苔＋杉皮	緩効性肥料3g	0.42	22.8	6.2	8.6	4.3	11.2
	緩効性肥料6g	0.84	22.7	6.4	9.0	4.5	11.0
	液肥:N25ppm	0.15	18.7	6.3	7.0	2.5	9.3
	液肥:N50ppm	0.3	20.0	6.8	7.5	3.2	10.8
	液肥:N100ppm	0.6	22.4	6.6	8.2	4.1	12.4
	慣行液肥:N50ppm	0.3	21.2	6.7	7.8	3.3	11.2
	無肥料	0	16.7	6.1	6.0	1.7	6.0

1)最大葉長：上位葉2枚のうち長い方の葉長。

2)葉幅：最大葉長の葉幅。

3)増加葉数：3.5号ポットに植え替えした後に展開した葉数。

* 耕種概要

鉢上げ、最低夜温、調査は表1に同じ

施肥：液肥施用は液肥(OKF9, 15-15-15)を、慣行液肥は「ビータース」(18-18-18)を週1回鉢当たり200ml施用。緩効性肥料(被覆燐硝安カリ、14-12-14、180日タイプ)は3.5号植え替え時に用土の表面に施用し週1回鉢当たり200ml灌水。

調査：植え替え後31週後(平成18年1月16日)に実施。花蕾数についてのみ35週後。

[その他]

研究課題名：施設花きの省力生産技術の確立

予算区分：県単

研究期間：2002～2005年度

研究担当者：諸岡淳司、松尾崇宏